

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	031200	TEL	2998-9158
事業コード	農業資材等適正処理推進協議会補助金	担当部課	市民経済部 農政課			
031202			グループ	振興		
補助開始年度		平成 10 年度	→	終了予定年度	平成 年度	

根拠法令	埼玉県公害防止条例、所沢市農業資材等適正処理推進事業実施要領							
分野別計画・指針	所沢市地域農業マスタープラン							
関連・類似事業								
総合計画の体系	政策	第5章にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	1節 農業	中柱	1 生産基盤の整備	小柱	(4) 環境に配慮した農業の推進
行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
補助開始の背景			平成10年4月から所沢市は、ダイオキシン対策として、プラスチック類を焼却しなくなった。また、埼玉県公害防止条例では、焼却時に黒煙・悪臭等が発生する廃棄物の焼却は禁止となっており、焼却処分に代わる新たな処理システムの確立が急務となった。					
補助の目的			農業生産により排出される使用済み農業資材等の適正処理に対して助成することで、環境に配慮した農業生産の健全な発展に資する。					
団体における実施事業の概要			使用済みのポリエチレン製・塩化ビニル製農業資材等、本事業において処理することが必要かつ可能な使用済み農業資材を期日を定め集中的に回収する。本協議会は農業者の委任を受け、再資源化業者(JFEスチール)と再利用委託契約をしている。					
			20			人		

③ 経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		90	90	85
	補助額決算 (見込み含む)		90	90	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.08 人	0.08 人	
	事業費合計		826	842	
	市民一人当たり(単位:円)		2.4	2.5	

④ 指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	団体活動実績	農ポリ、農薬空缶回収	実施回数	回	9	9	9	
		塩ビ回収	実施回数	回	1	1	1	
	成果分析	農業資材回収事業実施	実施回数	目標値	10	10	10	
				実績	10	10		
% 達成率				100.0	100.0		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1	

⑤ 一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input checked="" type="checkbox"/> 61~80%	<input type="checkbox"/> 41~60%	<input type="checkbox"/> 21~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない		
目標設定	目標項目	使用済み農業資材の適正処理を進めるために、啓発チラシ5,000枚を配布し、回収事業への参加促進を図る。	達成水準	19年度の参加者数延べ562人から10%増加を図る。	時期	3月	
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	環境に配慮した農業を推進していくうえで、農業生産で排出された農業用資材等を適正に処理することは非常に重要であり、本協議会の役割はきわめて大きい。						
評価日	平成 20 年 5 月 16 日	記入者職氏名	課長 越阪部 孝夫				

⑥ 二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日									

⑦ 個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
施策の方向					